

ニュース・年間行事

■2024 年

○「社内インターンシップ」を実施

2022 年度から「社内インターンシップ制度」を導入しています。この制度は、所属部署以外の業務に興味・関心を持つ社員が、希望する部署で1から3 カ月ほど業務に携わることができる仕組みです。初年度の参加者はゼロでしたが、年を重ねるごとに参加者が増え、所属部門と受入部門の双方が理解・協力し合うことで本制度が徐々に成熟しつつあり、若手社員の自立と挑戦を後押ししています。

【社内インターン制度の目的】

- ・個人の能力や専門性を高めることで、組織のパワーも仕事の質も向上する

- ・業務の前後工程や他者の仕事を理解し合うことで、組織内の風通しが良くなる
- ・他部署を知ることで視野が広がり、自分の仕事にも誇りが持てるようになる

これらは、従業員のエンゲージメント向上※につながる要素と考えられます。

2024 年度は4 名が参加しました。

以下の写真は、粉体システム事業本部 東京技術部 木原駿さん（2021 年入社）が、生産統括部 大阪工場設計部で社内インターンシップに従事していた様子です。

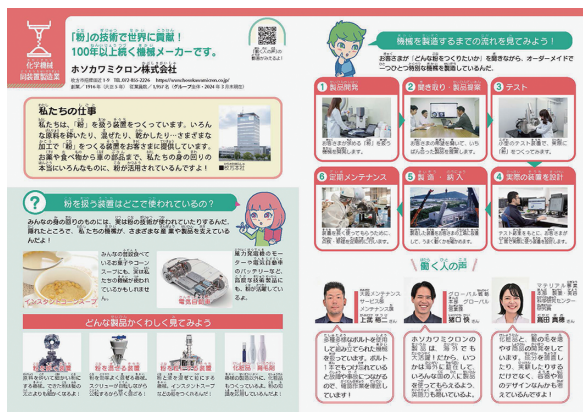
※従業員エンゲージメントが高まることで、優秀な人材が長く活躍し続けることができ、定着率の向上にもつながるとされています。



社内インターンシップによる工場での実地作業の様子

○10月25日「枚方市 小学生のためのお仕事ノート」に当社紹介ページが掲載

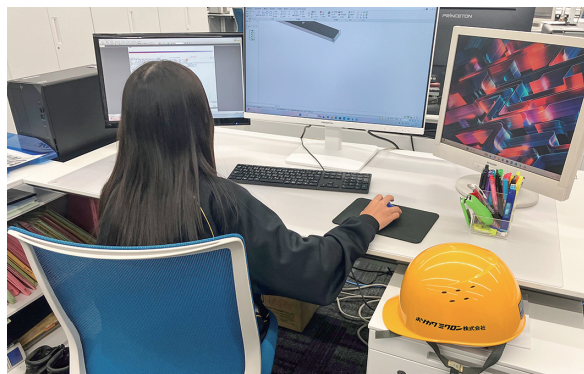
今年も、大阪府枚方市内の全公立小学校の小学3・4 年生に配布されるキャリア教育副読本「小学生のためのお仕事ノート」に、当社の紹介ページが掲載されました。昨年に続く掲載となり、地元の子どもたちに企業で働く魅力を伝えることを目的としています。紹介ページでは、当社の事業内容を専門用語を使用せずにわかりやすく説明しており、若手社員のインタビューも載せて、子どもたちが将来の仕事に興味を持つきっかけとなるよう工夫されています。



掲載された当社の紹介ページ

○11月7日～8日 中学生の職場体験を受け入れ

大阪府枚方市の招提北中学校と招提中学校の2年生、計8名が当社で職場体験を行いました。大阪工場の協力のもと、3D-CADソフトの操作や品質管理の模擬業務など、実際の業務に近い内容を体験してもらいました。体験後に届いたお礼状には、「机上では学べない貴重な経験ができた」といった感想が綴られており、生徒たちにとって実りある2日間となったことが窺えます。



設計業務を体験する様子

○11月9日「不器用FACTORY in ひらかた」に参加

くずはモール（大阪府枚方市）で開催された「不器用FACTORY in ひらかた」に、前年に引き続き2024年も参加しました。このイベントは、枚方・寝屋川のものづくり企業が集まり、子どもたちにも

のづくりの楽しさを体験してもらうことを目的に、2023年から始めたイベントです。2024年は参加企業も倍になり、各社が工夫を凝らして大いに盛り上がりました。当社は昨年好評だった「オリジナル砂時計を作るワークショップ」を行い、子どもたちが自由に好きな色の砂を選び、シールを貼ったりして作った砂時計でカラフルな粉の動きを体験しました。



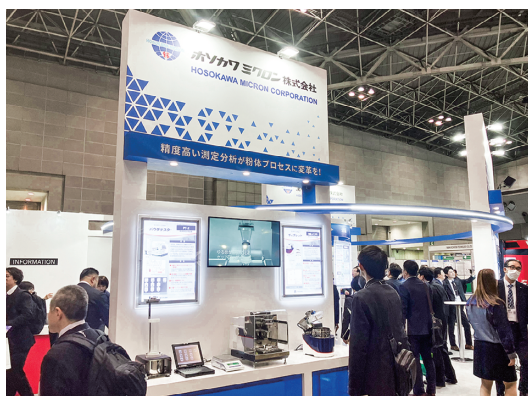
カラフルな砂時計を制作する様子

○2024年11月27～29日「国際粉体工業展 東京2024」（於：東京ビッグサイト（東京都／有明））に出展

当社は「トータルエンジニアリングの訴求」をテーマに、動的粒子像分析装置「パーシェアナライザ®（PAS）」、粒子径・帯電量測定装置「デジタルイースパートアナライザ®（D-EST）」、粉体特性評価装置「パウダテスタ®（PT-X）」、湿式ふるい分け装置「ヴィブレット®（VBL-F）」などの測定機や、小規模研究開発用卓上ラボ機の新型「ピコライン®（Picoline®）」、ラボ用多目的粉砕分級システム（100AFG/50ATP）の実機展示を行いました。また

粉砕・分級・混合・粒子設計・乾燥・測定機器およびエンジニアリング、メンテナンスサービス、受託加工などのパネル紹介も行い、当社のトータルソリューションをアピールする機会となりました。

PASおよびD-ESTに関しては、各日2回のプレゼンテーションを実施し、PASでは測定実演も行いました。さらに、大画面モニターにPR動画を映し出し、来場者の注目を集めました。製品技術説明会では、28日に粉体工学研究所の清水研究員が「動的粒子像分析装置パーシェアナライザ®のご紹介」をテーマに、29日には東京技術部の瀬川課員が「様々な粉体に対応するホソカワミクロン乾燥設備」について発表を行いました。



「国際粉体工業展 東京 2024」での展示風景



新型測定機「PAS」・「D-EST」展示コーナー



製品技術説明会（左：「PAS」発表・清水研究員，右：「乾燥設備」発表・瀬川課員）



■ 2025 年

○ 1 月 1 日 ホソカワアルピネ (Hosokawa Alpine), オーストリアに新支社設立

当社グループの欧州主要拠点であるホソカワアルピネは 2025 年 1 月 1 日、オーストリア・ウィーンに新子会社「ホソカワアルピネ オーストリア GmbH」(Hosokawa Alpine Austria GmbH) を設立し、正式に営業を開始しました。新拠点では、プロセスエンジニアリング分野における新規顧客の開拓と既

存顧客のサポートを強化。さらに、メンテナンスサービスブランド「Blueserv」のスタッフも常駐し、粉体およびプラスチック薄膜装置に関するアフターサービスを提供します。ウィーンの地理的優位性を活かし、現地人員の増強と欧州各拠点との連携により、地域全体のサービス網を強化する方針です。グローバル展開を加速する中、同社は迅速かつ的確なサービス提供を目指し、営業・サポート体制の充実を図っています。



○2月5日（東京会場）2月14日（大阪会場） 「女性活躍を共に考える会」に参加

日本生命保険相互会社主催の「2024年度女性活躍を共に考える会」（第10回）に、当社からは5名（一般職女性3名、男性係長2名）が参加しました。本セミナーは、ダイバーシティ推進の取り組みの一環として、女性がキャリアを築く上での課題や解決策を共有し、働きやすい環境づくりを考える場として毎年開催されており、今年で10回目を迎えました。当社の参加は今回が初めてです。基調講演の後には、企業の枠を超えて分科会形式での交流会にも参加しました。



基調講演の様子（出口クリスタ氏：パリオリンピック柔道女子金メダリスト）

○2月6日～7日「枚方市立第一中学校 キャリアアッププロジェクト」に参加

当社は地域貢献活動の一環として、大阪府枚方市立第一中学校で開催されたSDGsワークショップに、2023年から3年連続で参加しています。今年は、枚方市に本社や工場を構える地元企業7社が参加し、各社の社員が実際に学校を訪問し、中学生によるサステナビリティに関する企画立案をサポートし

ました。

当社は『社会課題解決に貢献する「粉」を考えよう!』をテーマに、中学生ならではのユニークな視点で様々な「粉」のアイデアを発案し、スライドにまとめて発表してもらいました。優秀班に選出された「3Dフードプリンター&味付けスプレー」の企画は、学年全体の前でもプレゼンテーションが行われました。



SDGs ワークショップ当日の様子

○3月11日「令和6（2024）年度 ホソカワ粉体工学振興財団助成・褒章事業贈呈式」（於：ホソカワミクロン株式会社本社本館（枚方市））を開催

平成3年に当社細川益男前会長により創設された公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団は、毎年「KONA賞」の授与をはじめ、研究助成や若手研究者の育成、学会開催支援などを通じて、これまでに

累計1,146件・総額8億円超の助成を行い、粉体工学の発展に寄与してまいりました。本年度の贈呈式は、参加者の利便性を考慮し、昨年に続き会場とオンラインによるハイブリッド形式で開催。会場には受賞者や関係者約20名が参列し、オンラインでは採択者や関係者約35名が参加しました。今年度は155件の応募の中から、KONA賞1件、研究奨励賞1件、研究助成21件、研究者育成援助5件、シン

ポジウムなど開催援助 2 件が採択され、助成金総額は 2,600 万円となりました。式典では細川理事長より贈呈状が手渡され、研究奨励賞受賞者である大阪

大学接合科学研究所の小澤隆弘助教による記念講演が行われ、猪ノ木評議員の閉会挨拶後、記念撮影をもって盛会のうちに終了しました。



受賞風景

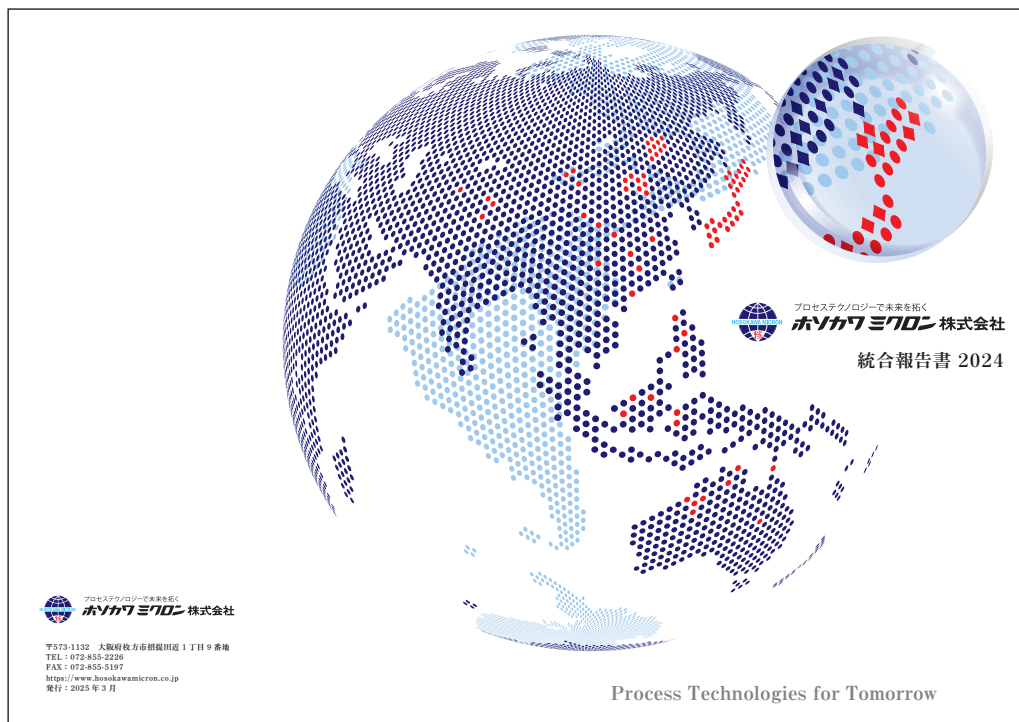


受賞講演風景

○3月28日「統合報告書 2024」を発行

当社は 2025 年 3 月 28 日、「統合報告書 2024」を発行しました。昨年初めて発行した「統合報告書 2023」に続く第 2 弾となります。統合報告書は、企業の財務情報と非財務情報（ESG・戦略・経営・知的資本情報など）を統合的にまとめ、ステークホルダーに短期から長期にわたる価値創造の姿を伝えることを目的とした報告書です。

今回は、国内情報に加え海外を含むグループ全体の内容を掲載しています。第 18 次中期 3 カ年経営計画や長期ビジョンの紹介に加え、新任執行役員 4 名による座談会も収録し、当社の強みや職場の雰囲気や臨場感を持って伝えています。トップインタビューでは、現在の経営環境を踏まえた将来像について語られています。今後も統合報告書を継続的に発行し、社内外のコミュニケーションツールとして活用してまいります。

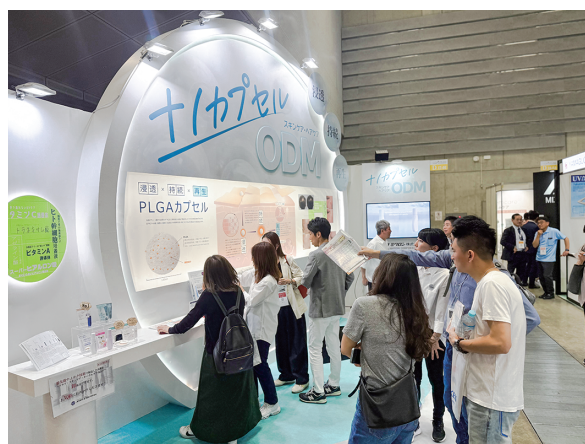


○5月14～16日「第12回化粧品産業技術展
—CITE Japan 2025」(於：パシフィコ横浜
(横浜市／西区))に出展

本展示会は2年に1度開催される化粧品業界最大級の展示会で、当社は8回目の参加となります。今回は「浸透×持続×再生 ナノカプセル ODM」をテーマに、主力商品のPLGAカプセルをPRしました。PLGAカプセルは直径140 nmの球形状カプセルで、美容成分を封じ込み、①皮膚・毛穴・細胞内

への浸透、②24時間以上の持続効果、③ターンオーバーやコラーゲン再生促進という3つの機能を持つ、唯一無二の化粧品原料です。

ブースでは円形パネルを配置した明るいデザインで来場者の目を引き、「浸透」「持続」「再生」をイラスト化したパネルも好評でした。期間中は技術発表2件とショートプレゼンも実施し、多数の方に技術を紹介することができました。目標260名を上回る275名の来場者をお迎えし、複数新規案件の引き合いを得る実りある展示会となりました。



「CITE Japan 2025」での展示風景

○5月23日「動的粒子像分析装置パーシェアナライザ®」が第75回工業技術賞を受賞

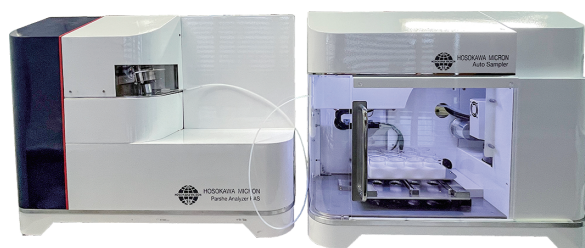
当社が開発した動的粒子像分析装置「パーシェアナライザ®」が、一般社団法人大阪工研協会による「第75回工業技術賞」を受賞しました。授賞式は2025年5月23日に開催されました。

本賞は、科学技術の振興と若手研究者・技術者の育成を目的とし、工業化への貢献度が高い研究開発や、現場技術の革新的な進歩・改善に顕著な功績を挙げた個人・団体に授与されるものです。

大阪工研協会は、「将来性も含めて工業化へ大きく寄与する研究開発」として、本製品の技術的優位性と産業界への貢献を高く評価しました。「パーシェアナライザ®」は、動的画像解析技術を用いた粒子解析装置であり、幅広い産業分野での活用が期待されています。今回の受賞により、同製品の技術力と市場における信頼性が、さらに確固たるものとなりました。



大阪工研協会第75回「工業技術賞」授与式の様子



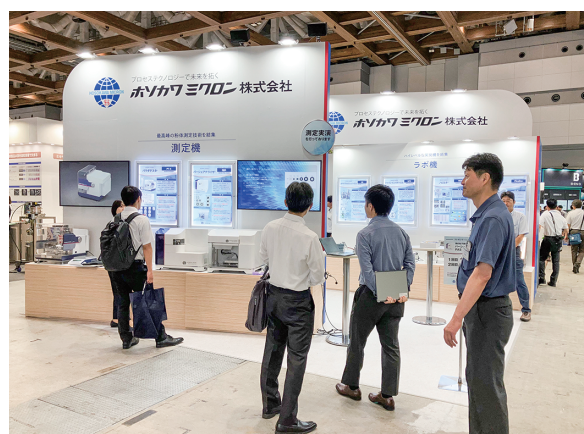
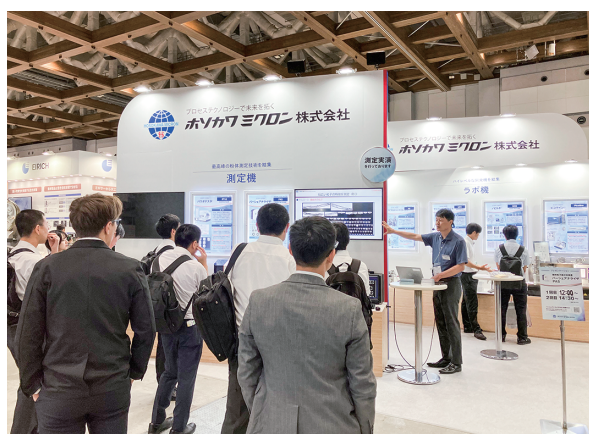
パーシェアナライザ® (左) とオートサンプラ (右)

○7月9～11日「第27回インターフェックス —医薬品・化粧品 製造展」(於：東京ビッグサイ ト(東京都/有明))に出展

当社は、「100年の経験による最高峰の粉体技術で持続可能な社会に貢献します。」をテーマに、測定機として、新製品の動的粒子像分析装置パーシェアナライザ®(PAS)、粉体特性評価装置パウダテスタ®(PT-X)の2機種を、またラボ機として、小規模研究開発用卓上ラボ機ピコライン®(Picoline®)、乾式粒子複合化装置ノビルタ®ミニ(NOB-MINI)、卓上型粉碎機ファインインパクトミル(100UPZ-c)、旋回流型ジェットミルのスパイラルジェットミル

(50AS)の展示を行いました。そのほか、ペネトアナライザ®(PNT-N)、封じ込め設備、および流動層式対向型ジェットミルのカウンタジェット®ミル(100AFG)のパネル展示を行い、当社の幅広いトータルエンジニアリングをアピールする絶好の機会となりました。

特に今回も粒子の撮影画像から精度の高い粒子の形状測定が可能なパーシェアナライザ®の実演測定を、オートサンプラを利用した自動測定とすることで、来場者の反応は上々で、属人化からの脱却が急務となっている医薬分野に展開するための素晴らしい情報交換の場となりました。



「インターフェックスジャパン東京 2025」での展示風景

○9月13～15日「大阪・関西万博」の「大阪ウィーク・やりなはれ」ブース(於：EXPO メッセ)にて上映される「ものづくり企業紹介動画」に当社が出展

当社は枚方市や寝屋川市を中心としたものづくり企業が集まり、子どもたちに、ものづくりの楽しさを体験していただくことを趣旨としている地域貢献イベント・不器用 FACTORY に参加しています。この不器用 FACTORY が大阪・関西万博「大阪ウィーク」の「やりなはれ」ブースに出展することになりました。当社はブース内で上映される、ものづくり企業14社を紹介する動画の撮影に協力しました。動画には、大阪テストセンターに設置されている様々な装置や当社ヘルスケア製品などが登場します。当社製品の特徴や開発のこだわりについての紹介もあり、当社の技術力とものづくりへの情熱が伝

わる内容となっています。本動画は YouTube でも公開される予定です。



大阪・関西万博の「大阪ウィーク」に登場する「やりなはれ」ブースの出展風景